



# おてだま

OTEDAMA CLUB IN JAPAN

NO.

# 16

2002. 8 Summer

特集1 第11回全国お手玉遊び熊本大会開催

..... 2



フランス ベルサイユ宮殿

特集2

お手玉のルーツ  
を訪ねて

ポンペイ・パリの旅

4~5



イタリア スペイン広場



韓国 コンギ (お手玉)

- 韓国でお手玉教室聞く..... 3
- 常陸宮妃殿下華子さまに  
お手玉献上..... 3
- 北条市よりお手玉の会訪問..... 3
- お手玉大使の証タイ国へ..... 5
- 新支部紹介..... 6
  - 豊岡支部「豊岡市港地区お手玉の会」
  - 広島支部「広島安佐北区お手玉の会」
- 神戸まつり..... 6
- 国際交流..... 6

# 第11回全国お手玉遊び熊本大会

～めざせ！お手玉『健康芸術』～

## 前夜祭

日時 平成14年8月31日(土)  
17:30～20:30(要予約)  
場所 グランメッセ熊本  
コンベンションホール  
〒861-2235  
熊本県上益城郡益城町福富1010  
TEL 096-287-4700

## 講演会(17:30～)

講演 【健康芸術とお手玉】  
講師 日本のお手玉の会顧問  
医学博士 中原 和彦 先生

## 交流会(18:30～)

## 大会

日時 平成14年9月1日(日)  
9:20～15:30  
場所 益城町総合体育館  
〒861-2242  
熊本県上益城郡益城町木山236  
TEL 096-289-2433

## 開催内容

- ★競技
- ・一般の部
    - 団体戦
    - 個人戦 片手2個ゆり
    - 両手3個ゆり
    - 両手4個ゆり
    - 両手投げ3個(ジャグリング)
  - ・小学生の部
    - 団体戦
    - 個人戦 片手2個ゆり
    - 両手3個ゆり

※参加料 個人戦 500円/種目ごと  
団体戦 1,000円/1チーム

- ・(小学生以下は無料)
- ・入場や見学は無料
- ◎お手玉技量認定審査 初段から6段  
認定料 大人 1,000円 小学生 500円
- ◎物産品展示コーナー
- ◎アトラクション  
高崎裕士 津軽三味線 他
- ◎オリジナルグッズ販売コーナー
- ◎お手玉教室
- ◎世界と日本のお手玉の展示コーナー  
創作和紙人形展示コーナー
- ◎伝承遊びコーナー

問い合わせ先 熊本おじゃめの会  
第11回全国お手玉遊び熊本実行委員会  
〒861-2235 熊本県上益城郡益城町志願1212-1  
Tel 096-289-8433 Fax 096-289-8433

第11回を迎えた今年の全国大会は、「第11回全国お手玉遊び熊本大会」として、熊本県の益城町で開催されます。大会は、9月1日(日)益城町総合体育館にて開催されます。内容は競技の部(個人戦・団体戦)、お手玉技量認定審査、アトラクションでは昨年の9回記念大会でも演奏していただきました、津軽三味線奏者、高崎裕士さんの演奏もあります。

また、8月31日(土)にグランメッセで行われる前夜祭では、日本のお手玉の会顧問、中原和彦先生の「健康芸術とお手玉」と題した講演があります。講演が終了後、熊本料理を楽しむながら、交流会を予定しております。交流会では、全国から参加の方々と交流を深めていただき、また、本部や支部のステーション発表などがあり、楽しい交流会を予定しております。(要予約)

9月1日の大会当日の入場は無料です。多数のご参加をお待ちいたしております。

めざせ！お手玉健康芸術  
第11回  
全国お手玉

2002 9.1 (日) 9:20～15:30  
会場 益城町総合体育館  
熊本県上益城郡益城町福富1010  
TEL 096-287-4700

前夜祭 8.31 (土) 17:30～20:30  
会場 グランメッセ熊本  
熊本県上益城郡益城町福富1010  
TEL 096-287-4700

火の国熊本へ  
来てはいいよ！

熊本  
九州

KUMAMOTO  
くまもと

熊本大会

アトラクション  
高崎裕士 津軽三味線 他

オリジナルグッズ販売コーナー

お手玉教室

世界と日本のお手玉の展示コーナー  
創作和紙人形展示コーナー

伝承遊びコーナー



## お手玉のルーツを探る

# フランス・イタリアの旅

石塚 斐子



フランス エッフェル塔

募集したところ、福岡・東京・神奈川・広島・松山・新居浜各地から13名で参加しました。2002年5月27日、新居浜からの参加者9名は20時、新居浜東港に集合、最新のサウナ風呂付きの「フェリー8」で船中泊、各自さまざまな夢を乗せて出港しました。

「日本のお手玉の会」は、平成14年5月28日(6月3日まで)、イタリア・パリへと10回目の海外遠征に参りました。「お手玉遊びには心のかよう、不思議な魅力があります。日本の心を届けたい手から心へ」を合言葉に、世界の人々に、お手玉遊びの楽しさをアピールしてきました。

以前、藤田会長がイタリアを旅したとき現地のガイドから、ボンベイにお手玉遊びの歴史があることを聞き、いろいろな文献に、ボンベイの道跡にお手玉遊びの歴史があることがわかりました。

28日、伊丹空港からビジネスクラスのフライトで成田空港に到着、世界の皆様と合流、東京から12時間20分かけてパリに到着。29日の午前中は、パリ市内の観光をし、昼食にはエスカルゴの前菜で始まるフランス料理をいただきました。その後、フランス絶対王政の栄光を象徴する華麗な宮殿、ベルサイユ宮殿と美しいフランス庭園を見学。宮殿広場のルイ14世の像の前、世界の観光客の前でお手玉遊びの普及の始まり。子供たちが集まり、お手玉会員と一緒に、両手・片手での2個ゆり・3個ゆりに挑戦。パリジェンヌは、ちょっと気取って、子供たちや私たちに拍手で声援を送っていました。少々気をよくして、オペラ座の前の階

段に降り込む観光客の前でパフォーマンスを試みましたが、反応がなくその時は早々に切り上げました。

30日は終日、自由行動でルーブル美術館を見学。世界中の人々が見学に訪れていました。古代オリエンタル・エジプト・ギリシャ・フランス等の彫刻、工芸品、絵画等、作品全部を見学するには、二ヶ月はかかるという美術品の数々、私たちは現地ガイドの「モナリザ」「ミロのビーナス」「サモトラケのニケ」の本物に直面できて感動しました。

もうひとつ素晴らしいと感じたことは、入場料がわずか3ユーロです。アイスクリーム・お茶・コーヒー杯分の値段で、世界の美術に触れることができます。小中学生がたくさん、学期末で見学に訪れていました。また、館内で名作の模写をしている絵描きさんもいました。世界の美術の数々が生活に密着しているフランスの文化がうらやましく思いました。

話は変わりますが、何を思ったか、みんなで地下鉄に乗って帰ることにしました。フランス語は、「ボンジョール」「・・・」以外は、何も話せません。五感を頼りに逆方向に歩いたり、下ったり、たくさん歩いたり、疲れました。でもこの珍道中、とても楽しくいろいろな事があり、よい思い出になりました。そうそう、地下鉄の中ではこんな事がありました。一人の黒人の子供がお母さんに叱られて、大泣きをしていました。団に座っていた会員の一人が、お手玉を取り出し、ゆり出すと途端に泣き止み、目を輝かせて笑い出しました。私たちもその子の笑顔を見てると、しばし疲れを忘れていました。お手玉の魅力はすばらしいと、この時改めて思いました。

その夜は、バトゥムシユ(セーヌ川で一番大きな遊覧船)の上で、セーヌ川の夜風に吹かれ素敵な生演奏と共に、ディナーを取りました。ライトアップされたエッフェル塔や、石の彫刻が施されて重厚な建築物に歴史を感じながら、絵はがきの中のような素敵な光景に見とれてしまいました。

31日、エール・フランスでローマに到着。午後は自由行動の予定が変更になり、ローマ市内観光となりました。6月2日は建国記念日で、サンピエトロ大寺院でお祭りがあり、ローマ市内の交通規制が行われるためでした。

全行程とも、終日晴天に恵まれましたが、特にイタリアの澄みきった青空のもと、サンピエトロ大寺院の中で、祈りを捧げる敬虔な信者の邪魔にならないように見学した後、ローマ法王の謁見の窓を見上げながら、サンピエトロ広場でお手玉を披露しました。その後、映画「ローマの休日」の舞台となったテレビの泉・スペイン広場を見学、世界の観光地ゆえでしょうか、とにかく人が多く、お手玉を披露する余地なしといったところでした。

帰りは、陽気なイタリア青年の運転するタクシーで、片言のイタリア語と英語で笑いを撒き散らしながら、ホテルまで帰ってまいりました。(楽しませてくれたハンサムボーイにチップを倍額払った人もいました。)

この日の夜は、カンツォーネを楽しみながらイタリア料理をということで案内されたのは、昔銭湯だったというレストランでした。それらしい雰囲気のレストランです。イタリア料理は、パスタが山のようにたくさん、味はまずまずといったところでしょうか。しかし、その後が大変です。ギターや音色とともにカンツォーネの歌声に合わせ、フラメンコともマンボともつかない、

楽しい楽しいお手玉踊りが始まりました。  
「日本のお手玉の会」の10周年の集大成で  
しようか？ビデオカメラを持参しなかつた  
ことが悔やまれます。

ともあれ長い一日が終わりました。

6月1日はいよいよお目当てのポンペイ  
です。車で2時間ほど描られてポンペイに  
到着、日本に二年間留学したことがあると  
いう日本語がべらべらの現地ガイド「カト  
チャ」に案内してもらいました。

紀元79年にベスピアス火山の大爆発で、  
一日にして歴史から消え去り、発掘により  
現代に蘇った古代都市ポンペイの遺跡です。  
「ポンペイ」という映画のシーンを思い出  
しながら案内を聞いていました。その遺跡  
の中に当時大衆娯楽センター、ポリビュ  
ス家の各室の壁面にお手玉をする人が描か  
れていました。また、その横の壁にはお手  
玉の神様（天女が両手を広げお手玉）が描  
かれていました。お手玉は当時車なるあそ



イタリアポンペイの遺跡



お手玉の壁画（イタリア・ポンペイ）

びととしてだけではなく、何かほかの意味を  
持っていたのかもしれないなどと思っ  
てました。

2000年も昔の人々の生活に触れ、タ  
イムスリッパしたような感動を覚えました。  
その後、世界三大美港のひとつとして知ら  
れるナポリを見学し、ボジリポの丘からベ  
スピアス火山が一望できました。すばらし  
い一日でした。来て良かったという思いで  
いっぱいでした。

6月2日はのんびりと朝食をとり、さま  
ざまな思いを後に、いろいろなお土産をいっ  
ぱい持って帰路に着きました。

ロンドンのヒースロー空港を経由して、  
一路日本へ……。乗り物の中ではみんな眼  
り姫です。お疲れ様でした。

素敵な七日間の旅でした。企画してくだ  
さった方々、お世話してくださった方々に  
深く感謝申し上げます。ありがとうございます  
ました。

## 『お手玉大使』の証

### タイ国へ

定です。

塚田さんはたくさんのお手玉と裁縫道具  
を持って、タイ国でのお手玉遊びを楽しみ  
に、七月三〇日に四度目のタイ国へご出発  
されるそうです。

タイ国でもお手玉遊びで笑顔の輪が広が  
っていくことを、期待しております。

タイ国、東北部の幼稚園から中学の「パー  
チヤン校」に、奨学金や図書などの援助を  
直接手元に届ける活動をする「パーチヤン  
会」があるそうです。愛知県にお住まいの  
塚田さんは、その活動のいっかん、タイ  
国の女子の自立のためにミシン仕事の指導  
をして欲しいとの要請で、これまでに三回  
タイ国へ行かれたそうです。

ところが、全てのミシンが修理不能で機  
能せず、そんな中、塚田さんが思い立った  
のがお手玉作りだったそうです。タイでは  
お手玉作りはただの遊びとして受け止めら  
れ、いろいろと苦勞があったようですが、  
今ではお手玉作り指導の要請がくるまでに  
なったそうです。

そんな塚田さんから一本の電話が入りま  
した。現在お手玉作りができる生徒に、指  
導を任せ、裁断や柄使いを教えて、お手玉  
による自信と自立の感動を知ってもらい、  
その感動を下級生に伝えて欲しいという意  
味を込めて、「感謝状」を送りたいので、  
会から発行していただませんか？という  
ご依頼でした。

これまで感謝状をお送りした事はありません  
でしたが、お伺いしたお話や、いただ  
いたお写真を拝見すると、感謝状のような  
もので励みになるのであればと思います。また、  
これからはお手玉の楽しさを伝えていって  
欲しいという願いを込めて、「お手玉大使  
の証」を送ることにしました。表彰は、  
塚田さんより現地の生徒三名に贈られる予



第四回 タイ国でもお手玉を作っている所

## 支部18号

# 『豊岡市港地区お手玉の会』誕生

平成一四年五月二〇日、神戸県民会館にて支部認定式を行いました。神戸まつりに参加した後、藤田石根会長より代表者の中嶋則子さんに、支部認定証が渡されました。その後、参加メンバーの一五名で、「お手玉教室」を開催しました。参加者は、近辺の大阪や西宮から五〇名で、基本の実技からコミュニケーション遊びまで、約二時間の講習を受け、「地域での仲間の輪を広げて、健康で生きがいのある生活をおくります」と、元氣いっぱいでした。



豊岡支部認定式



### 支部情報

★ 広島支部がこの度二つに増えました。従来の「ひろしまお手玉の会」と「広島安佐北区お手玉の会」になりました。広島はともにお手玉への関心が広がっています。公民館・小学校・児童館・国際交流と指導者研修等にも力を入れてます。

ひろしまお手玉の会

会長 小田 寧之

広島安佐北区お手玉の会

会長 森下 恵子

★ 東京支部である「東京倶楽部」が五月より、「東京お手玉の会」と名称を変えて新たな出発をいたしました。

会長も小泉珠子さんより、飯田喜久子さんにバトンタッチされ、今後も活動に意欲を燃やしています。

五月二五日には、東京自由が丘の

日本のお手玉の会 様

ニハオ！益々暑くなって来ましたが、お元氣のことと思います。4月30日に、お手玉の本とおみやげが届きました。ありがとうございます。ちょっと見てみたのですが、とてもおもしろくて、自分も作ってみたいになりました。ただのお手玉だけではなく、すばらしい芸術品でもあると思います。

日本のお手玉の会 様

この本を大事にして、中国に帰りましたら、中国の子供たちに教

えたいと思います。

いろいろお世話になりました。改めて心から感謝を申しあげたいと思います。これからもよろしくお祈りします。

お時間がありましたら、是非またお会いしましょう。

では、お体を大事にしてください。

2002年4月30日

楊坤

商店街の夏祭りのイベントに参加し、また八月の三・四日の世田谷区民祭には、メンバー全員で取り組むとか、今後の広がりが楽しみです。

東京お手玉の会

会長 飯田 喜久子

## 神戸まつりに参加

五月二〇日、第三二回神戸まつりが開催されました。神戸お手玉の会を中心に、豊岡市港地区お手玉の会・本部からも応援出場しました。

朝六時、新居浜出発の時は大きな雨でどうなることか？と心配でしたが……二時間四〇分程で、神戸の中央市民会館に到着。その時にはすっかり雨も止み、陽ざしさえ見えてきました。

北村義雄さんの指導のもと、リハー

サルをして本番のパレードに参加しました。三宮中央通りで八六団体の熱気あふれる演技が披露されました。お手玉の会の演技は五分間で、二度の出演でした。参加者全員がお揃いのピンクの玉ちゃんTシャツを着て、活き活きした表情でした。

青い山猿の演舞になると、沿道より大きな拍手がありました。よかったですよ！よかったですよ！と、終わった時には拍手を求められる程でした。

よかったですよ！と、終わった時には拍手を求められる程でした。



発行・編集

日本のお手玉の会 会報編集委員会

〒792-0811 愛媛県新居浜市庄内町1-13-14

TEL/0897-36-0600・FAX/0897-36-0644

E-mail: tamachan@otedama.shikoku.ne.jp

ホームページ

http://www.shikoku.ne.jp/otedama/